

# 第4学年 国語科学習指導案

1組 計34人 (男子21人, 女子13人)  
指導者 中川 寛仁

1 単元 元 きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう  
(教材「ウナギのなぞを追って」光村図書4年下)

## 2 単元の見通し

- 筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。【知識及び技能(2)ア】
- 教材文や科学読み物を読み、興味をもったところを中心に大事な言葉や文を捉えて、文章全体を要約することができる。【C読むこと(1)ウ】
- 教材文や科学読み物を進んで読み、興味をもったところを中心に要約したり、感想を書いたりして友達に紹介しようとする。【学びに向かう力、人間性等】

## 3 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

論理的思考力	筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係について理解したことを基に、興味をもったところを中心に大事な言葉や文を捉え、それらを短くまとめて文章全体を要約する力
創造力	これまでに習得した段落相互の関係を捉える読み方を基に、文章を要約するために必要な知識を新たに習得し、それらを関連付けて、概念的な知識「目的に応じた要約の仕方」を創り出す力

## 4 単元について

### (1) 単元の位置とねらい

これまでに子供は、教材「動いて、考えて、また動く」で、筆者の考えと事実との関係を捉え、興味をもったところを中心に感想をまとめる学習を経験してきた。また、「アップとルーズ」で、段落相互の関係や文章と写真との関係を捉え、新聞や雑誌では筆者がどのように説明しているか調べる学習に取り組んできた。

そこで、本単元では、「C読むこと ア記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする言語活動」として、「筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えながら科学読み物を読み、興味をもったところを中心に要約して友達に紹介する言語活動」を位置付ける。具体的には、理科の自由研究に取り組んだ感想や教師が作成した科学読み物の紹介カードを読んだ感想を交流させて、科学読み物の内容を要約して紹介する言語活動に関心をもたせ、教材文の構成と内容を捉えながら要約の仕方を学ぶ活動に必要感をもたせる。また、教材文で学んだことを基に気に入った科学読み物を読ませ、「なんの話か」、「要約」、「感想」の構成でカードにまとめさせて友達に紹介させる。

この学習は、筆者の説明の仕方や文章構成に着目して要旨を捉える「生き物は円柱形」の学習につながる。また、興味をもったところを中心に文章の内容を要約する学習は、子供の今後の読書生活や気に入った本を紹介する活動に生かすことができる。

### (2) 子供の実態 (調査人数：34人 調査日：令和元年8月21日)

知識及び技能	9割程度の子供は、「始め、中、終わり」の文章構成を理解しているが、文末表現等に注目して、筆者の考えとそれを支える理由や事例を区別し、相互関係を捉えている子供は少ない。
読むこと	7割程度の子供は、説明的な文章の内容や段落相互の関係を捉え、大体を紹介できるが、興味をもったところを中心に大事な言葉や文を捉えて紹介できる子供は少ない。
学びに向かう力、人間性等	8割程度の子供は、関心をもって科学的読み物を読んだ経験をもっている。また、7割程度の子供は、気に入った本を紹介する活動に関心をもっているが、目的意識をもって本を紹介しようとする態度が高まっている子供は少ない。

## 5 指導に当たって

### (1) 「自分の問い(自分のめあて)」をもたせる教師の手立て

「つかむ・見通す」過程では、理科の自由研究で課題意識をもって生き物を調査して報告した経験を想起させ、教師が作成した科学読み物の紹介カードを提示する。生き物の生態や筆者の調査の仕方などへの興味・関心を喚起し、「気に入った科学読み物を読み、興味をもったところを中心に要約して友達に紹介したい。」という「自分の問い(自分のめあて)」をもたせる。

### (2) 「学び合い」を活性化させる教師の手立て

「調べる」過程では、段落相互の関係や内容、各段落の大事な言葉や文、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えさせた上で、紹介カードの下書きをさせる。そして、紹介カードの「要約」の内容が適切であるか学級全体や興味別グループで考えを交流させることで、要約するための言葉や文の選び方のポイントを捉えることができるようにする。

### (3) 学びを振り返り、学びを価値付ける教師の手立て

「振り返る・生かす」過程では、「分かったことやできるようになったこと」などの観点で本単元の学びを振り返らせる。興味をもったところを中心に大事な言葉や文を捉え、科学読み物の内容を要約して分かりやすく紹介できたことを価値付けて達成感を味わわせ、今後の読書生活や本を紹介する活動に活用しようとする意欲を高める。

6 指導・評価計画 (全10時間)

【前単元「段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう」で習得した概念的な知識】  
 説明的な文章を読む時は、段落ごとに何が書かれているかを捉え【A】、それらがどんな関係かを考える【B】ことで、文章の構成や内容への理解が深まる。

子供の反応 [ ] 重点評価項目 [◆]

過程(時)	見方・考え方	主な学習活動	知識の理解の質の高まり	教師の指導
つかむ・見通す (1)	紹介カードの構成や内容・捉える	1 教師が作成した科学読み物の紹介カードを読み、単元の学習課題について話し合う。【A, B】	生き物には知らない秘密がたくさんあるぞ。研究者の取り組み方が素晴らしいな。科学読み物を要約し、興味をもったところを紹介したい。	○ 理科の自由研究に取り組んだ感想や教師が作成した科学読み物の紹介カードを読んだ感想を交流させて、単元の学習への関心を高める。 ◆ 科学読み物の紹介カードを作成する学習に関心をもち、課題解決への意欲を高めている。
		科学読み物をよりよく紹介するために、要約する時の大切なポイントは何だろうか。		【主体的に学習に取り組む態度：話し合い】
調べる (6)	段落相互の関係や内容、筆者の考えとそれを支える理由や事例・関係付けて考える	2 教材文を読み、興味をもったところを話し合う。【A】	長い年月がかかった調査に驚いたことを友達に紹介したい。	○ 教材文を読ませ、自分がどこに興味をもったかを明らかにさせる。
		3 各段落の主な内容や相互関係を調べ、文章構成表にまとめる。【A~C】	調査の道筋に着目すると、各段落の内容や関係が分かった。	○ 筆者の調査の道筋を意識させて読ませ、各段落の主な内容や相互関係を捉えさせる。
		4 各段落の大事な言葉や文を調べ、文章構成表にまとめる。【A~C】	大事な言葉や文に着目すると、筆者の考え等が分かった。	○ 各段落の大事や言葉や文を調べさせ、筆者の考えと理由や事例との関係を捉えさせる。
		5 文章構成表を基に、「なんの話か」、「要約」、「感想」の構成で教材文の紹介カードの下書きをする。【A~C】	文章構成表を基に、紹介カードの下書きをすることができた。	○ 各段落の大事な言葉や文を基に、教材文の紹介カードの下書きをさせる。
		6 前時に下書きをした紹介カードの内容を見直し、要約するための言葉や文の選び方のポイントについて話し合う。(本時)【C, D】	大事な言葉や文に着目して、文章の内容や興味をもったところが伝わるものを選ぶことが大切だ。	○ 紹介カードのエラーモデルを提示し、気付いたことを話し合わせて、要約するための言葉や文の選び方のポイントを捉えさせる。
		7 前時に学んだことを生かして、紹介カードを清書する。【C, D】	前時に見直した言葉や文を使うと、よりよく要約できた。	○ 前時に選び直した言葉や文を使って要約させ、紹介カードを清書させる。
深める (2)		8, 9 教材文で学んだことを生かして、気に入った科学読み物を読み、紹介カードを作成する。【C, D】	気に入った科学読み物の内容や興味をもったところが伝わる紹介カードを作ろう。	◆ 文章の内容や興味をもったところが伝わる言葉や文を選び出して、教材文を要約している。 【思考・判断・表現：「学び合い」紹介カード】
				○ 学んだことを基に科学読み物の紹介カードを作成させる。 ◆ 筆者の考えと理由や事例との関係を捉えて、文章の内容や興味をもったところが伝わる紹介カードを作成している。
生振りかす (1)	紹介カード・内容等を見直す	10 同じ科学読み物を選んだ友達と紹介カードを読み合い、感想を交流する。そして、本単元の学習を振り返る。【C, D】	興味をもったところを中心に要約することで、科学読み物のおもしろさをよりよく紹介できたぞ。	○ 紹介カードを加除・修正させたり、本単元の学びを今後どのように生かしていくか考えさせたりする。 【知識・技能：紹介カード】

【本単元で習得が期待される概念的な知識】  
 説明的な文章は、段落相互の関係や内容、筆者の考えやそれを支える理由と事例との関係を捉え【C】、興味をもったところを中心に大事な言葉や文をまとめる【D】と要約できる。

次学年単元「筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう」の学習や今後の読書生活と紹介する活動へ

7 本 時 (6/10)

(1) 目 標

提示された教材文の紹介カードの問題点について考えたことを友達と学び合い、要約するための言葉や文の選び方を捉え、自分が選んだ言葉や文を見直すことができる。

(2) 展 開

□ 教師の言葉掛け ( ) 子供の反応 [◆] 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
つかむ・見通す(5)	<p>1 「自分の問い(自分のめあて)」をもち、<b>本時の学習課題を立てる。</b></p> <p>前時に、自分と友達の下書きをした紹介カードを読み比べて、どのような感想をもちましたか。</p> <p>紹介カードの「要約」の内容が友達と違うので、自分の「要約」が「ウナギのなぞを追って」をよりよく紹介できているか、内容を見直したいです。</p> <p>紹介カードの「要約」の内容を見直そう。</p>	<p>○ 前時に下書きをした紹介カードを互いに読み比べた学習を想起させ、その感想を尋ねることで、「なぜ、紹介カードの『要約』の内容が、それぞれ違うのだろうか。」や「紹介カードの『要約』の内容を見直したい。」という「自分の問い(自分のめあて)」をもたせる。</p>
調べる(8)	<p>2 教師が提示した教材文の紹介カード(エラーモデル)を読み、そこにまとめられた「要約」の問題点について、自分の考えをまとめる。</p> <p>3 考えたことを全体で共有し、「新たな問い」を見いだす。</p>	<p>○ 文章の内容や興味をもったところが分かりづらい「要約」のエラーモデルを提示し、問題点があることに気付かせる。そして、各段落の大事な言葉や文などをまとめさせた文章構成表を基に、そのように考えた理由をノートに書かせる。</p>
深める(22)	<p>「レプトセファルスには、1日に1本ずつふる輪のできる部分があります。」がふさわしくないと。理由は、その段落の大事な言葉や文とは言えないからです。しかも、「感想」には「長い年月がかかった調査に興味をもった。」と書いているのに、関係のないものを選んでいました。</p> <p>また、年月を表す言葉や文を選んでいないので、興味をもったところが伝わってきません。この紹介カードの「要約」は、文章の内容や興味をもったところと関係のない言葉や文があります。</p> <p>この紹介カードの問題点が明らかになりましたが、みなさんの「要約」の内容はどうでしょうか。</p> <p>自分の「要約」が、文章の内容や興味をもったところをよりよく紹介しているか気を付けて見直し、ふさわしい言葉や文を選び直したいです。</p> <p>4 自分が選んだ言葉や文が要約するためにふさわしいものか、同じ興味をもった友達同士で考えを交流しながら見直す。</p>	<p>○ 考えたことを全体で交流させて、提示されたエラーモデルには、文章の内容や自分が興味をもったところを意識せず、関係のない言葉や文を選んで要約していることに気付かせる。そして、「前時に下書きをした紹介カードの『要約』の内容はどうか。」と尋ねて、「自分の「要約」は、文章の内容や興味をもったところをよりよく紹介しているだろうか。」という「新たな問い」を見いださせる。</p>
振り返る・生かす(10)	<p>「ウナギの謎」グループ 「レプトセファルスの旅」</p> <p>文章の内容が分かり、謎の解明に関連する言葉や文か検討</p> <p>文章の内容が分かり、レプトセファルスに関連する言葉や文か検討</p> <p>「筆者の調査の仕方」 「長い年月がかかった研究」</p> <p>文章の内容が分かり、筆者の調査に関連する言葉や文か検討</p> <p>文章の内容が分かり、研究の月日に関連する言葉や文か検討</p> <p>5 選んだ言葉や文を見直した感想を全体で交流し、学習課題に対する考えをまとめる。</p> <p>大事な言葉や文に着目し、文章の内容や興味をもったところと関係のあるふさわしいものを選んで気をつけて見直す。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、学びを自覚する。</p> <p>要約するためには、大事な言葉や文に着目し、文章の内容や興味をもったところと関係のあるものを選ぶことが大切であることが分かった。</p>	<p>◆ 提示されたエラーモデルの「要約」の内容に着目し、要約するために選んだ言葉や文の問題点について考えて、文章の内容や興味をもったところについて書かれてあるものを選ぶことが大切であることに気付いている。</p> <p>【思考・判断・表現：ノート、発表】</p> <p>○ 「要約して紹介するためには、どの言葉や文がよりふさわしいか。」という観点で、教材文や文章構成表を基に、同じ興味をもった友達同士で考えを交流させながら、下書きをした紹介カードの「要約」の内容の見直しをさせる。その際、加除・修正した言葉や文には、青ペンで印を付けさせるなど思考の可視化を図る。</p> <p>○ 「何に気を付けて、紹介カードの『要約』の内容を見直したか。」と尋ねて、学習課題に対する全体のまとめを行う。</p>
		<p>○ 本時を「分かったことやできたこと」などの観点で振り返らせ、理由を尋ねることで、働かせた「言葉による見方・考え方」や習得した概念的な知識「要約するための言葉や文の選び方」のよさについて価値付ける。</p>

「なぜ、紹介カードの『要約』の内容が、それぞれ違うのだろうか。」

「前時に下書きをした紹介カードの『要約』の内容はどうか。」

「分かったことやできたこと」